



学校だより

令和5年2月吉日
上越市立有田小学校
校長 野田 晃

「ありがとう」と「当たり前」

2月8日（木）から2月17日（金）まで、生活委員会が「ありがとう週間」を行いました。「ありがとう」の言葉を増やし、有田小学校を明るく温かい学校にするために取り組みました。うれしかったこと、心が温かくなったこと、感謝したことなどをカードに書き、「ありがとうの木」に掲示したり、校内放送で紹介したりしました。子どもたち一人一人の優しい気持ちが溢れていて、とてもうれしくなりました。私たちは誰かに「ありがとう」と言ってもらえるとうれしくなります。別に感謝の言葉がほしいために何かをしているわけではないのに、子どもから、家族から、同僚から、「ありがとう」と言われると幸せな気持ちになります。人の心は見えません。このように言葉で表してもらえた時、相手の優しい心に触れるからでしょうか。また、自分が人の役に立っていることを実感できるからでしょうか。とにかく、素晴らしい言葉であることは間違いありません。子どもたちが「ありがとう」をたくさん伝えられる人になり、友達に家族に、これからの人生でかかわっていくたくさんの人々に「幸せを配る」ことができる人になってほしいと願っています。

なお、「ありがとうの反対は当たり前である」と教えてもらったことがあります。当たり前だと思えば感謝の気持ちが起きません。さらに怒りの気持ちすら沸き上がります。

子どもの中には、親が子どものために何かすることを当たり前だと思っている子がいます。朝起こすこと、朝食を準備すること、学校まで送ること、服や勉強道具を買うこと、服を洗濯すること、ご飯を作ること、食器を洗うこと。だから、親がしてくれないと怒ります。起こしてくれなかった、洗濯してくれてなかった、文房具を買ってくれなかった、好きなおかずを作ってくれなかった。ひどい言い草です。親の気持ちが全く分かっていません。これは、「私のためにちゃんとすべきことをしなかった、許さん。」という考え方です。ニュースでの電車が遅れて駅員に暴力を振るった事件やコンビニの対応が遅いので激怒して土下座させた事件などを思い出させます。毎日、不平や不満ばかりな子どもになってしまいます。日々の暮らしが、本当は当たり前ではないことに、できるだけ早く気づいてほしいものです。みんなに助けをいただいている、支えていただいていると思えば、感謝の気持ちで心が一杯になり、毎日が楽しくなるのですから。

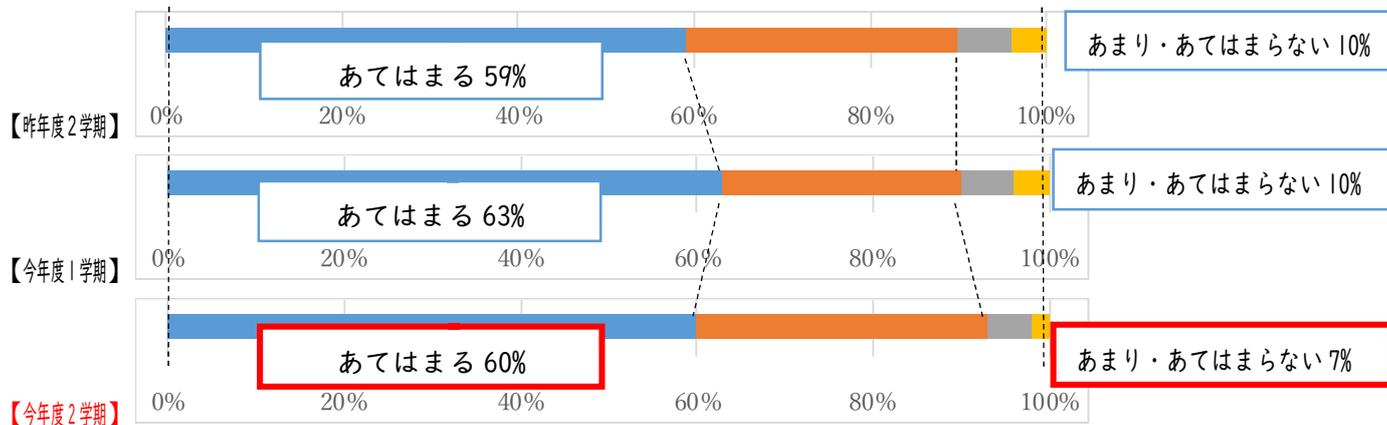
トルコ・シリア大地震、ウクライナ紛争のニュースを見るたびに、今の暮らしが当たり前ではないことを痛感します。感謝の気持ちを大切にしたいものです。

【学校評価アンケートの結果より】

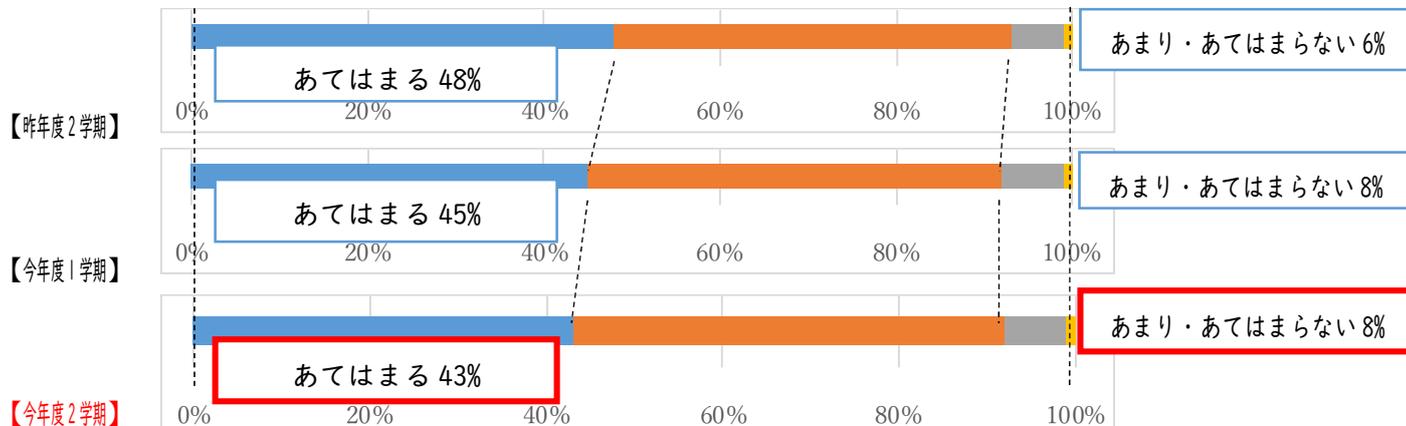
当校の教育活動に関するアンケート調査にご協力をいただき、ありがとうございました。調査結果をもとに、教職員で子どもの成長について振り返り、学校としての受けとめや今後の方策等についてお示しします。



<対象：児童 設問1：学校に行くことは楽しい。>



<対象：保護者 設問1：あなたのお子さんは、喜んで学校に行っている。>

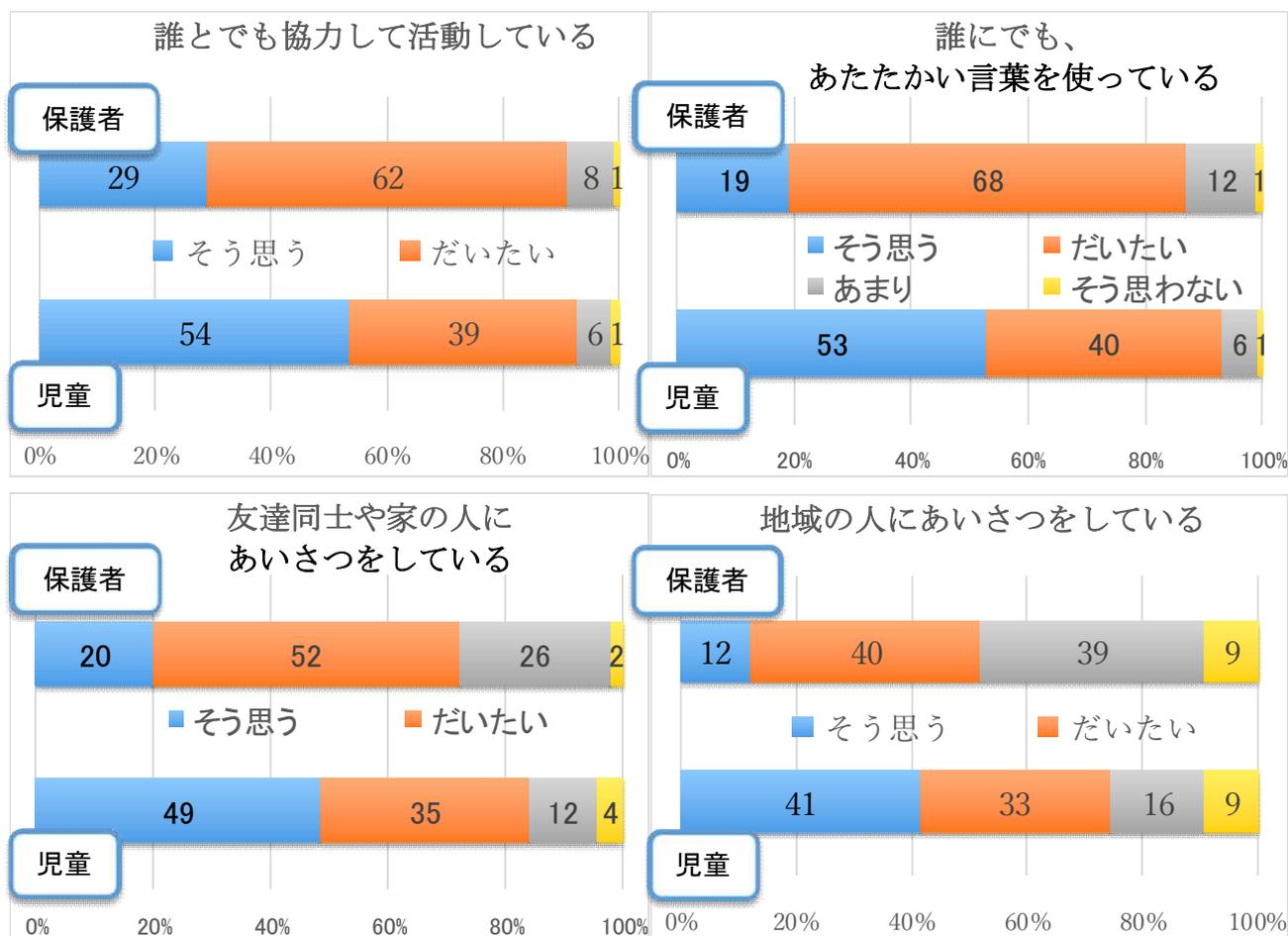


1学期末に引き続き、児童、保護者ともに約9割の肯定的回答をいただきました。また、児童の否定的な回答(3%=18人)も減りました。保護者、地域の皆様からの温かいご理解とご協力をいただきながら、教育活動を進めてきたことの成果であると考えます。しかしながら、強肯定の割合(3%=18人)も同時に減っています。この傾向は、どのようにとらえればよいのでしょうか？

学校運営協議会で話題となったのは、「楽しい」の中身についてでした。子どもたちの「楽しい」とはどのようなものなのか？大人の目線でのアンケートでなく、学校をより良くするための「策」を考えるために、質問項目も変化させていく必要があるとのご指摘もいただきました。今後、改善していきたいと思えます。

保護者の肯定的回答、特に強肯定がじりじりと下がってきている(55%→48%→43%)ことについては、1学期にお示したとおりで、その傾向にも変わりはありません。学校評価アンケートの細部を見ると、あいさつや言葉遣いなどで手応えを得ている子どもたちが増えています。その一方で、保護者にはその感覚は薄いようで、校内での取組・成果が、家庭・地域へと広がっていく手立ても必要だと感じています。子どもたちの元気や笑顔が、家庭、地域の元気や笑顔につながっていくように願いながら、日々の教育活動に取り組んで参ります。

「様々な人とかかわり相手を思いやる子」



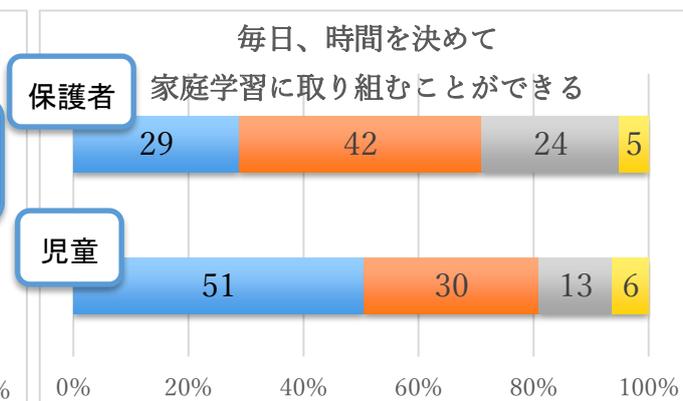
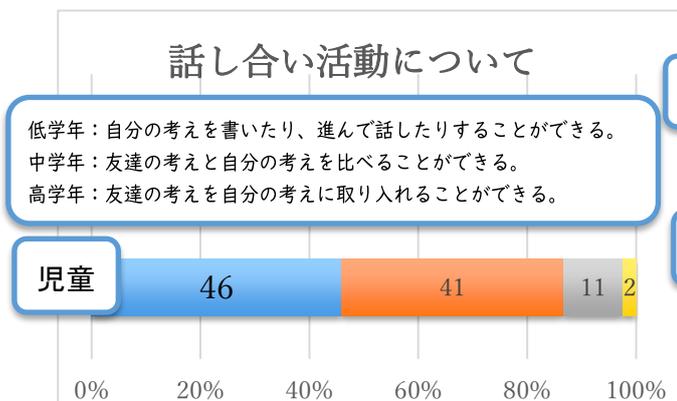
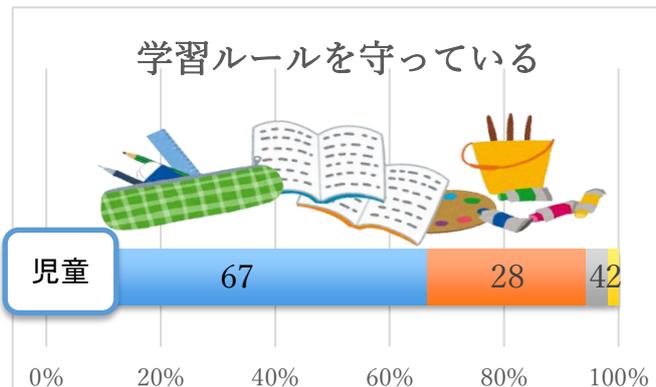
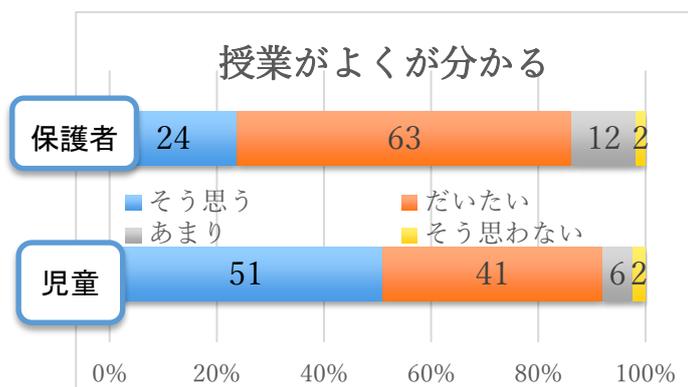
「誰とでも協力して活動している」や「誰にでも、あたたかい言葉をつかっている」の項目は、児童の肯定的評価が90%を超え、1学期よりも増えています。「友達同士や家の人にあいさつをしている」や「地域の人にあいさつをしている」の項目も、1学期に比べると大きく伸びています。特に、「あたたかい言葉」や「あいさつ」の項目で、「そう思う」とはっきりと答えている児童の割合は1学期と比べて、最大で7%上がっています。



2学期は、感染症予防に努めながら、「あいさつ」や「あたたかい言葉」を使うことの良いことについて、上学年による「ありペン集会」、下学年による「たーペン集会」で周知し、各クラスで個人のめあてやクラスの目標を立て、振り返りを行いました。また、縦割り班や登校班でも遊ぶ機会を設け、子ども同士のふれあい活動を増やしてきたことが、肯定的評価を高めたと考えています。

「地域の人へのあいさつ」の項目では、80%をまだ越えていません。ご家庭においても、まずは大人同士であいさつをする姿を見せていただき、子どもたちがあいさつをしたときには、「よくできたね」と温かい声を掛けていただければ幸いです。

「学び合い、考えを深める子」

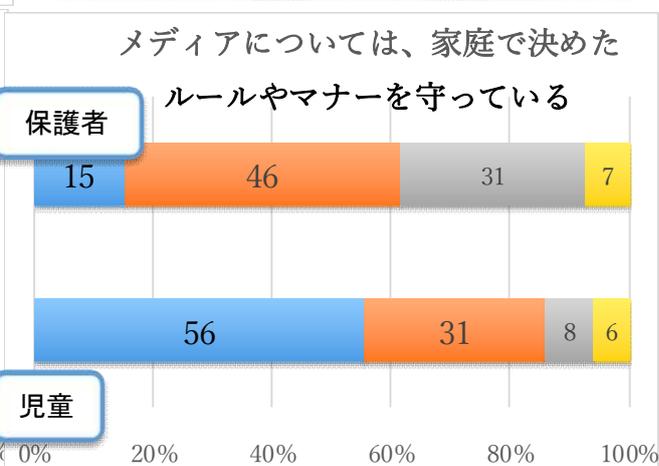
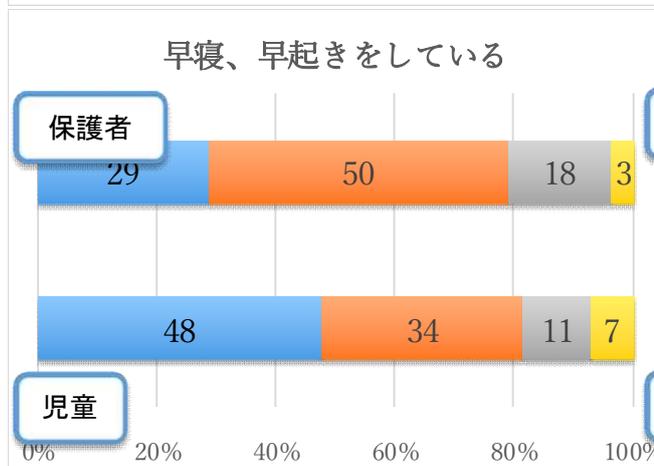
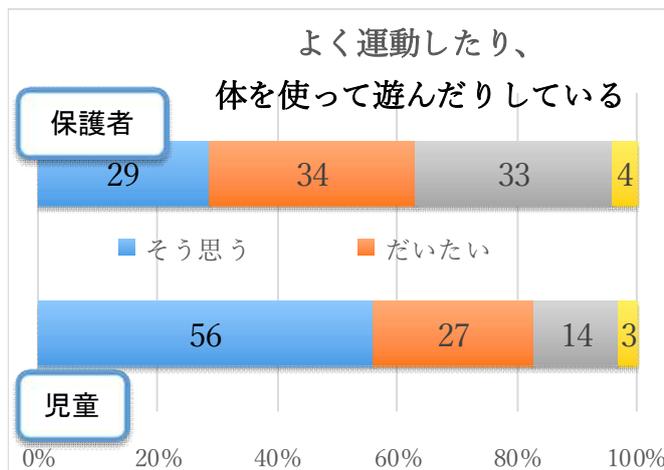


「授業がよく分かる」の項目は、児童の肯定的評価が92%となり、1学期よりも約4%増えました。ICTを活用した資料提示などの視覚的な支援の効果もあり、児童は学習に進んで参加し、学習内容の理解を深めることができました。加えて、学年に応じて漢字や計算などの学習用アプリを使うことで、学習内容の定着を図ることもできました。「学習のきまり5か条」やiPad使用の約束の定着を図る指導を継続すると共に、児童が自ら課題に取り組み、学び続ける授業づくりを今後も進めていきます。

「話し合い活動」の項目では、児童の肯定的評価が85%と1学期よりも若干増えました。「話し方ヒント」や「聞き方マスター」といった、「話す・聞く」に関するスキルを学級の実態や学習の目的に応じて活用したり、ペアやグループでの話し合いを積極的に取り入れたことで、児童は効果的な話し方やよりよい聞き方を身に付けることができました。今後も、課題や発問、協働的な活動を工夫し、伝え合う力の向上を図ります。

「毎日、家庭学習に取り組んでいる」の項目は、児童の肯定評価が81%となり、こちらも1学期より若干増えました。なお、保護者の皆さんの肯定的評価は71%でした。家庭学習の習慣を児童が身に付けることが宿題や自主学習のねらいであることを意識し、児童が意欲をもって家庭学習に取り組めるような工夫を講じていきます。

「進んで運動する子」「生活習慣を身に付けている子」



「よく運動したり、体を使って遊んだりしている」の項目は、児童の肯定評価が83%と、1学期同様に高い評価になりました。休み時間には、たっぷりと雪の積もったグラウンドで雪遊びに親しむ姿や、遊び場所の割り当てを工夫したこともあって体育館でボール遊びを楽しむ姿がありました。また、委員会企画でのドッジボール大会など、子ども同士が関わる活動もありました。「早寝早起きの習慣化」の項目では、児童の肯定的評価が80%を超えて、規律ある生活習慣が定着してきたものと考えています。加えて、毎月10日の「健康の日」には、生活習慣が定着している子どもから、校内放送で家庭での取組を紹介するなどの周知にも努めました。このような取組も生活習慣が定着してきている要因の一つと考えます。

「アウトメディアの取組」の項目では、児童の肯定評価は87%でした。ご家庭においてのルールが定着してきていることがうかがえます。その一方で、保護者の皆さんの肯定的評価、特に「そう思う」との結果に大きな開き（児童56%、保護者15%）があります。子どもたちのメディア利用場面を見て、「確かにルールは守れているけれど、少し心配だな…」と考えられているのではないかと思います。「早寝早起きの習慣化」「アウトメディアの取組」には、ご家庭の協力が不可欠です。引き続き、ご協力をお願いします。



□■□ ご意見ありがとうございました □■□

<p>現状、取り組んでいただいておりますが、コロナ発生の際は後の祭りにならぬよう、徹底して、みんなが納得できるようにしたいところです。よろしくをお願いします。</p>	<p>【新型コロナウイルス感染症への対応】 感染症対策については、保護者の皆様より様々なご意見を頂戴しています。当校は公立学校であり、文科省や県教委、市教委の指導・指示の下、感染症対策を講じて教育活動を進めております。検温や手指消毒、マスクの着用の奨励、黙食の実施、感染者等の人権への配慮などについても同様です。</p>
<p>11月、12月、これだけ感染拡大している状況で、学校は家庭には速やかな報告を求めているのに、担任がコロナ感染して約1週間休んでいたにも関わらず、子どもにも保護者にも明言しないのは疑問が残りました。</p>	<p>なお、「黙食場面」については、市教委より「食事中の会話については、感染拡大防止の取組として、飛沫が届かないような座席配置の工夫や適切な換気等の措置を講じた上で、学校の感染状況や実情に応じた対応を行うこと。」との通知が来ております。当校は600名を超える児童が在籍する大規模校であり、「飛沫の届かないような座席配置」を全クラスで実施することは困難な状況です。そのため、現時点においては、黙食解除は考えておりません。</p>
<p>有田小学校はいつ黙食解除になりますか？文部科学省から黙食緩和の通知が来てはいます。文部科学省は最初から必ずしも黙食することは求めておらず、学校の判断で黙食している学校としていない学校があります。</p>	

※政府や文部科学省による新たなコロナ対策が報道されるようになりました。今後、文科省や県教委、市教委の指導・指示に従って対応して参ります。

<p>地域での子どもたちの挨拶についてです。朝、スクールバス乗場に向かう子どもたちを見掛けると挨拶するようにしているのですが、挨拶を返してくれる子どもはほとんどいません。学校で挨拶のことは子どもたちにも指導していると思うのですが、浸透はしていないと思っています。</p>	<p>【あいさつ・言葉遣いについて】 子どもたちにお声掛けくださっているとのこと、お礼を申し上げます。学校だけではなく、地域でも爽やかな挨拶が進んでできるよう、今後も指導を続けて参ります。引き続き、ご協力をお願いいたします。</p>
<p>我が家が陽性連絡を入れた際に対応された先生が、経過を聞きたいと言いながら、こちらの話を最後まで聞かずに割って入ってくるので、何度も同じ話をしなければならなかったのが困りました。しかもベテランの教員です。その先生は「私、どう対応していかよく分からないので確認しておきますね。」と仰いました。この状況下、学校は職員に対応方法を周知していないのでしょうか？日頃、子どもたちに厳しく指導されていても、話を聞いてくれないような先生だと説得力がないです。</p>	<p>【学校の対応について】 ご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。いただいたご意見を共有し、丁寧な対応に努めて参ります。なお、コロナ関連については、市を通じて県に報告することから、質問項目が多くなっております。非常の時に心苦しいのですが、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。</p>
<p>1クラスの生徒数が多いように思います。個性豊かな子どもたち。クラスの人数を減らす、補助の先生がつくなど、先生方が余裕をもって対応できるような環境作りが必要だと思われれます。また、先生方の異動により、子どもたちの進級に伴う連絡事項（個々の児童の特徴など）が薄いように思います。システマ的にはあるのですが、実際に活用されているのが分かりません。先生方は日々の業務に忙殺され、子どもたちのトラブルなど、成長過程の共有が乏しいように感じています。（その場限りの対応であって、その子どもの履歴を、先生が変わるたびに一から説明しなければならないため。）特に、これは被害者側の子どもたちに多いことではないかと思っています。</p>	<p>【学校の対応について】 ご存じのとおり、当校は大規模校であるばかりでなく、1学級あたりの人数も法定上の最大規模に近くなっています。そのため、ご心配いただいているような状況が散見されることもあり、ご心配をおかけしています。進級に伴う引き継ぎについても、ご指摘いただいたことを肝に銘じて参ります。</p>
<p>音楽発表会の子どもの前列との差をもう少し付けていただくか、前の友達と重ならないような配置にさせていただきたいです。</p>	<p>【行事の工夫について】 音楽発表会では、PTA総務部の皆さんと相談し、保護者席を市松模様にするなど、少しでも見易くなるように工夫いたしました。ご意見を承り、発表者（児童）側についても隊形を工夫するなどして参ります。しかしながら、どうしても重なる場合がございます。その際は平にご容赦ください。</p>
<p>始業式、終業式の日を給食にさせていただけるとありがたいです。</p>	<p>【行事の工夫について】 ご意見承りました。こちら、様々なご意見がございます。学校運営協議会で検討したり、PTA総務部の皆さんとも相談したりして参ります。</p>
<p>雨などで服が濡れてしまったとき、どこで着替えて良いのが分からず、靴下のみを変えています。みんなの前で着替えるのは恥ずかしいというので、どこで着替えれば良いか子どもたちに指導していただけると助かります。</p>	<p>【学校生活の工夫について】 これは切ない思いをさせてしまいました。ご意見を反映して周知し、少しでもよい状況で学習に臨むことができるように配慮して参ります。</p>

<p>第2駐車場の件です。第1駐車場が一方通行であることは『PTAスマイルありた』で発信してくださっているので承知しております。これからの季節は雨や雪になりお迎えの車も増えると思います。スムーズな動線確保のためにも、第2駐車場の入口・出口も全体に示していただきたいです。</p>	<p>【駐車場の工夫について】 ご意見ありがとうございます。PTA総務部からも同様の意見をいただいております。第2駐車場の動線指示、第1駐車場の進行矢印についても、随時取り組んで参りたいと思います。なお、時節柄、実現までに多少お時間をいただくこととなるものと思います。ご容赦ください。</p>
<p>教育とは少しずれてしまうのですが、駐車場について思うことがあります。第1駐車場は、ロータリーのように進行矢印を地面に書いてらよと思います。そうすれば来たことがなかった人も周りの車も同じ意識で動けると思っています。毎年の新1年生保護者にも分かりやすいと思います。</p>	
<p>いつも子どもたちの為に、細やかな対応をしてくださり、ありがとうございます。進級してから、学校に行きたくないと言うことが増えてしまいました。子どもに聞くと、様々な理由があるようですが、先生と信頼関係を築けていないことが大きいと思います。</p> <p>2学期始めにも他の先生に相談したことがあり、担任の先生に伝えてくれたようですが、改善はされていないようです。それが原因で教室に来られない子もいると聞きます。学校も友達も大好きで、今まで楽しく登校していた子なので、登校したくない、教室に来られない子が居て寂しいと聞くのはとても切ないです。子どもたちの声も聞いていただき、改善してもらえたらと思います。</p> <p>また、授業の遅れを心配しています。理解するスピードに差があるのは当たり前ですし、遅い子に合わせるの大切だと思います。しかし、理解している子たちを放っておいてよいことにはなりません。昨年度のように算数の授業をレベルに応じて分けたり、クラス全員がちゃんと授業に参加出来たりするように工夫してほしいです。</p>	<p>【その他】 ご心配をおかけし、大変申し訳ございません。様々な理由から学校に行きたくないという児童がいることは事実であり、現在、スクールカウンセラーや学校医とも連携して対応にあたっております。また、「先生と信頼関係を築けていないことが大きい」とのお叱りについても、指導について改めて見直して参ります。</p> <p>授業の進捗については、文科省の指定する内容が未履修になるような状況にはありません。個人差については、「人に教えることは、常に自分の学びを共にする」との視点から、理解している子たちが、そうではない子に助言する形式を取り入れるなど、個に応じた指導への配慮にも努めているところです。</p> <p>なお、昨年度実施した「少人数・習熟度別学習」については、現在の当校にその余力がなく、実施することができていません。力不足については、お詫び申し上げるばかりです。</p>
<p>コロナで欠席した時、7日間の自宅待機のため、学習の遅れを心配しましたが、担任の先生方のおかげでリモート学習にすぐに参加でき、リモート学習の子どもたちにも気を使って学習して頂きありがたかったです。ただ、いつ頃、リモートに参加して下さいと連絡があったにも関わらず、ずっと待っていても先生からの応答がなく困ることもあったので、そのようなときには何か連絡があると子どもたちも安心すると思います。</p>	<p>【リモート学習について】 現在、高学年の座学を中心に「リモート学習」のような形で対応できている学年もあります。しかしながら、双方向でやり取りを行いながら進める形には程遠く、加えて発達段階による差や設備・機器の差も大きいのが実態です。まだまだ実践や研究が必要な状況であり、応答がない場合の対応も同様であると考えます。よりよい在り方となるよう、改善に努めて参ります。</p>
<p>個別面談では具体的に学校での授業で本人が何が苦手なのかを分かりやすく説明していただき、家でもフォローしていきたいと思えた面談でした。先生もお忙しい中、学校をお休みしたときも連絡をくださり気にかけてもらえたことがありがたかったです。</p>	
<p>いつも大変お世話になっております。コロナ禍で色々なことが制限される中、音楽会の開催ありがとうございました。素敵な演奏を聞いて、元気をいただきました。また、パレット学級でも丁寧学習指導をしていただき大変助かっております。</p>	
<p>行事に向けた子どもたちの頑張りを認めてくださったり、気付いてそこを伸ばしてくださったりしていただき感謝しています。小学生だとしても、日々過ごす先生やクラス的环境が子どもにとって大きく影響するのだと改めて感じています。家庭としても気を付けていきたいと思っております。今後もよろしく願いいたします。</p>	<p>【お礼・励まし】 あたたかいお言葉を多数いただき、心よりお礼を申し上げます。皆様からのお言葉と子どもたちが成長する姿、そして、みんなの笑顔を励みに、これからも努めて参ります。ありがとうございます。</p>
<p>先生方にはいつも大変お世話になっております。今年度、友達同士でのトラブルが多く、親の私はやきもきすることが多かったです。しかし、子どもは親よりも柔軟にトラブルを解決できたように感じました。それは先生方の学校でのご指導があつたことだと思っております。先生方のご指導が生きるように、家庭でも声がけをしていくことが大切だと改めて実感しました。また、子どもが欠席した日も丁寧に配慮してくださり助かりました。ありがとうございます。</p>	
<p>進級し、勉強が難しくなったり、自主学習の時間が増えましたが(学年×10分)、嫌がることなく取り組むことが出来ています。担任の先生をはじめ、沢山の先生方に感謝申し上げます。学校へ行くと、沢山の学年の児童さんが挨拶をしてくれて、大変嬉しく思います。</p>	

*紙幅の関係もあり、全てのご意見を掲載することができません。
なお、いただいたご意見は、学校運営協議会において熟議され、指導・助言をいただいております。

直東学園メディアアンケートの結果について

今回、直江津東中学校区の1中4小で一斉に、子どもたちのメディア実態把握調査を実施しました。その結果をお知らせします。(なお、小数第1位で四捨五入しているため、100%にはならない場合があります)

家の人との「メディアの約束」がある。

	全体	直江津東中	4小学校計	有田小
はい	71%	59%	75%	76%
いいえ	29%	41%	25%	24%

メディアは、家庭で決めたルールやマナーを守っている。

	全体	直江津東中	4小学校計	有田小
そう思う	53%	40%	58%	67%
だいたいそう思う	33%	40%	30%	24%
あまりそう思わない	9%	13%	8%	6%
そう思わない	5%	7%	3%	2%

1日にどのくらいメディア機器を使いますか？(平日)

	全体	直江津東中	4小学校計	有田小
使わない	4%	1%	6%	6%
1時間未満	19%	5%	23%	22%
1時間以上、2時間未満	35%	28%	38%	35%
2時間以上、3時間未満	20%	29%	17%	18%
3時間以上、4時間未満	13%	22%	10%	10%
4時間以上	8%	15%	6%	9%

なお、平日1日のメディア使用時間では、「3時間以上」と答えた子どもが約2割いて、「5時間」や「6時間」と回答した子も少なくありません。休日には、その使用時間がさらに延びる傾向も明らかになりました。コロナ禍により、ネット環境がより身近なものとなったことは間違いありません。今後、コントロールする力をどのように育てていくのか？近隣校とも連携して取り組んで参ります。

子どもたちには、学校評価とほぼ同時期(R4,12)に実施しました。「ルールを守っている」という子は学校評価87%、本調査で91%といずれも高く、これは学園の平均値よりも高いことから、子どもたちなりに意識し頑張っていることがうかがえます。しかし、4人に1人の子が、「ルールがない」と回答しており憂慮しています。

スマホやタブレットの所持、ゲーム機やインターネットTVなど、子どもたちがネット環境につながる項目を調査したところ、約7割がいつでもネットにつながる事ができる状況だということも分かりました。

3月の予定

- 2日(木) 学習参観日(分散型)・PTA総会・学年懇談会
- 3日(金) 地区児童会(5限)→集団下校 *6日(月) 登校から6年生は見守り役です。
- 7日(火) 「6年生ありがとうの会」
- 8日(水) 委員会活動
- 15日(水) PTA部長・副部長選出会 PTA新旧役員引継ぎ会 PTA総務部会
- 21日(火・祝) 春分の日
- 22日(水) 3学期終業式(1~4年、6年給食後放課・5年は前日準備後に下校)
- 23日(木) 第5回卒業式(5年生のみ参列・1~4年生は休業日)
- 24日(金) 離任式 *新学級編成発表

春休みは3月25日(土)~4月6日(木)

※令和5年度1学期始業式は4月7日(金)・令和5年度入学式は4月10日(月)の予定です。

